

発行所

東京都港区五反田南坂町一四

聖南坂教会内

日本ボイスカウト

東京分団

発行人

田中正男

編集人

杉原正

昭和三十五年

三月一九日

印刷所

港区芝罘町三十三

昭文堂印刷株式会社

電話(四三)二〇〇五番



スマイル

SMILE

日本ボイスカウト
東京分団機関紙

March.19
No. 58

十三回目の御誕生日おめでとう。私達の4団が戦後のまだ、経済も不安定な、したがって人々の生活もまだ困窮の域から脱していない時代に聖南坂教会に生れて、早くも十三年の年月がたつたが、二

てゆく事は容易な事ではない、一寸でも現在の地位に安心をしていれば現状維持が出来ないばかりか逆に衰微して遂には団の形成も危くなるという事もあり得る。私達の団を益々良いものとしてゆく為には先づ一人一人のスカウトが、良いスカウトになる事だと思ふ。良いスカウトになるということは、単に一々一つの枝を学んで上級のスカウトになる事ではなくスカウトの「誓い」と「おきて」に示されている条文をまもるといふ事である。この「誓い」と「おきて」と

第十三回の

誕生日を迎えて

団委員長 田中正男

先づ一人一人のスカウトが、良いスカウトになる事だと思ふ。

みんなのページ

はスカウト運動の根本であつて、入隊時や進級時にこの実行を誓うのもこの爲であるか一人／＼靜に反省してみるとき、これを完全に実行している自信がある人は何人いるであらうか。

私達の4団が、他の団と異なる特徴はこの団を育成しているのは、日本基督教団靈南坂教会であるという事である。したがつて、この団は、キリスト教主義の下に育成されており、「誓い」における神は私達の団にあってはキリスト教の神であつて他の神々ではないという事である。スカウト諸君に教会学校への出席をすすめているのも、この爲である。次にはスカウトではない

か、この団を育成してゆく爲に父兄並びに教会教育部より選ばれた団委員長が、努力をしてスカウト達にゆきよい場を与へる事である。おのおの本業を持つた人達がほんとの奉仕で行う事であるからこれも容易な事ではないが、スカウト運動をよく理解して、さらに一段の努力をしたいと考えている。

十三年の誕生日を迎えて、以上の様な事を考えたか、要は各人の努力と協力であると思ふ、さらに一歩前進する爲に今年も頑張りますよう。

◎育成会父兄総会開催

年一回開催される父兄総会が左記の要領で開催される。

日時 昭和十五年三月十九日(土) 午後七時
会場 靈南坂教会
議事 報告
団委員長選出
シマンボリー派遣について
その他

◎登録更新にあたり

昭和三十五年度の登録の更新を完了するため、登録費を三月中に所屬隊の会計に納入する。登録費 一〇〇円(スカウト一名)

◎春期バスピクニック

恒例のガールスカウト共備のバスピクニックの実施日が決定、五月三日(祭)

◎ジュビリーシマンボリー派遣

七月アメリカで開かれる大会の派遣、東京代表十四名が内定した
(本団関係)

年長隊長 今田 富士雄
年長隊々長 日下部 英一

みんなのページ

ベーデンパウエルのあゆみ

年長隊隊長

今田 富士雄

一九〇九年の暮、霧深いロンドンの町で、シカゴの出版業ウイリアム・D・ボイスが道に迷つて来たとき、通りかかった一人の少年が、彼の道案内をしました。彼は大変喜んでお礼のお金をわたそうとすると、「私はスカウトですからお金はいたしません。善行をさせていただけいてありがとうございます」と答えて立去ろうとしたので、彼は大いに感動して、少年にスカウト本部の案内をたのみ、そこを訪れ沢山の資料を米国に持

帰りました。彼はこの無名スカウトの善行を忘れる事ができず、米国のボーイスカウト創設に協力しました。この話は皆良く知つてゐる事と思ひます。この様にして米国内にスカウト運動が起きたのです。我が4団も二月二十二日には、十三周年を迎えました。我々にとって幸いな事は、この日はスカウト運動の創始者であるベーデン・パウエル郷の生誕の日にあたります。より良きスカウトになる爲にも、我等のベーデン・パウエルの生涯を知ることが大切なことです。これから数回に分けてBPの進まれた足跡をたどつてみましょう。

※ ※ ※

ベーデン・パウエル郷は十八五七年二月二日、ロンドンのハイドパークに生れました。父はオックスフォード大学の教授であり、また牧師をしておりましたが、彼が四才の時なくなりました。母はヘンリーエツタ。グレースと云う非常に立派な方で彼がスカウト教育をつくるうえにより助言を与えました。家訓に「我々は我がためにするのでなく、ひとのためにつくすべく生れたのである」と教えられていました。幼い頃は、母と家庭教師の手で自然観察を主とした教育を受け、十一才の時、ロースヒルの私塾に入り、夏は海軍にいる兄からヨットの訓練を受けたり、折尾たみ木

少年隊のページ

トでウイ川をさかのぼって人々を驚かしました。

（シースカウト教育の基礎）十三才の時、有名なチャーターハウスに奨学生として入学し、二年目に学校が効外の森の中に移り、卒業の余暇を大いに野外生活で楽しみました。学校では、すべての面ですぐれており、校長先生も「彼は生れながらの子供の指導者であつた」といっています。彼の正規の学校教育はここで終わっています。

「少年隊用」

ユニフォームの着用を励行を



「塔」にまつわる話 少年隊長 飯田貞雄

「そかえ匠つ鐘ろうあおいで進もう」。これは国歌の一節である。この鐘ろうを通称「塔」と吹んで十三年間もスカウトのクラブチーム

進歩

〔進級〕

一級 万石 俊夫 二月一日

谷村 藤右 三月一日

〔技能章〕

○ 野営章 望月 敏郎 二月二日

○ 鳥獣保護章 谷村 藤右 三月一日

として親しんできた。

まだ、ぼくが二級スカウトであった頃のことである。今の隊員諸君で知らない人もいると

思うが、南側の窓の下に縦横四十センチぐらいの小さな木の戸があるのを御存じだろう。あの中に入ってよく探検？をしたものであつた。戸をあけるとはしごがある。それに伝

わって降りていけば、いと不思議な世界がくりひろがっている。ぼくのようなおく病ものはせいぜい入ってはしごが三、三米ぐらい、いくかいかないでこわくはない。

つてのぼつてきてしまつた。小崎（現在副委員長）、志水（北海道在住）さんお二人は、礼拝堂の天井の上あたりまで自由自在に反ららしい。

少年隊のページ

三十分も経ってどうしたものがと心配してゐるとしげらしくしてほこりでまっ黒な顔をしてあの小さな穴からニコニコほほえんだ姿は、今でもなつかしく思いだされる。また一

級スカウトに進級して今の年長隊の前身ともいふべき年長班（こひつじ班）を作つた当時の二とである。今の班コーナ―の上の天井うらに部屋を作ろうとしたすばらしい計画である。石にしろ後輩たちに部屋をゆずつたものの自分たちの部屋が互くて困るといふので相談かほじまつた。あるものは運

氏名	就任日
初代 今井 襄二	三年二月二十日
二代 大屋 政夫	五年六月二十五日
三代 藤原 勇	七年四月十五日
四代 今田 富士雄	八年二月二十日
五代 飯田 貞雄	五年四月一日

少年隊 歴代隊長

動場に払下げ品を都合してもうって丸木小屋をまたあるものはこわれだ便所（現在修理されて玄關の下にあるもの）を改造をなどの提案があつたか、結局、どうせ作るなら一番高いところといふことで全員一致で決定した。それから土曜日は、はしごつくりからはじまつて大どうじ電気工事、測量木材の購入計画、

あかねのねん出方法にまで実行かすんだか、遂に危険という争で製作中止されてしまったことは今だに残念なことである。さて現在隊員の数もまして塔における隊集會が

禁止されてゐる現状である。塔がかたむいてゐるといふ説や床がぬけるといふおふなっかしい説があつてもちろん危険防止という点で考えなければならぬ問題ではある。それにしても最近塔の利用者の少ないのは全くさびしい、つまらないことである土曜日になつても班のコーナ―の整とんや清掃を自分からすすんで行わぬ班もあるようだが、隊の集會はできぬからといつてすべて活動をしないといふのではない。班集會の所に、いろいろの活動に活用できるものと思う。とにかく「塔」は少年隊の巢であることを感謝し自覚して大いに愛用するを希望してやまらぬ。

※ ※ ※

少年隊のページ

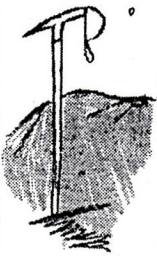
BSの飯鬼大將、それが僕
の受持つてゐる上級班長の仕
事です。一昨年の九月に中学
三年で「上班」になりて班長
達か中学二年という様に大変
若い「上班」になりました。お
まけに僕は大変テレ屋である
所から三十く四十名のスカウ
トを前々何か話をしたり、ゲ
ームの指導をする等という事
は、どうしても一歩遅りやい
てしまう感があり、二年目の
今もそれは変わっていません。
そしてやっとな慣れて来た昨年
の春は、世界ジャーンポリー
等の準備があつて四月二十九
日の団のピクニック以後、日
本ジャーンポリーまで「上班」
としての隊の活動はていた
ざみでありました。そんなわ

「上班」について

けで「上班」一年生はみごと
落第、二年目でこれを取り返
そうと思つて明年九月から心
を新たににして再出発した。が
最近どうも「上級」スレがし
て来て、やる事が事務的とい
うか何か活気のぬけたものに
なつて来ています。先日ワシ
ントンハイツのスカウトから
まねかれてみんなと一詣に見
学して来たが、向こうの「上
班」らしいスカウトを見てい
ると、非常に積極的で色々活
発にやつていました。僕もあ
お出来るよりのせか等と考
えました。現在の四隊は、他
の隊に比べて大変恵まれた環
境にあります。その為かどう
もそれにおぶさつていて、の
んかりと積極性に欠けたもの

上級班長 柳 健一

になつてゐるようです。それ
もこれも僕か、もう少しテレ
ないで積極的に班長達と遊ぶ
事によつて班活動をうなかし、
みんなが活発になるだろうと
いつも思つたりはしてゐるの
です。かまです。今春からボ
ーイスカウトの進級制度もが
ラツと変わったし、大きな行幸
もすくないので今から春のハ
イキング、ナイトハイキング
そしてキャンプの事など、ま
だ土曜日の集会にも身のある
集会をしたいと思います。
これらの抱負が机上の空論と
ならない様、飯鬼大將として
しつかりやつて行きたいと思
つています。



◎ただ今交渉中

今夏実施するカナ舎管（キヤブ）の候補地から現在中野井沢を交渉中である。スカウト関係者の至望であるが場所柄費用が若干多くなる模様である。二千円を目標にして準備されるよう希望している。

◎カブブックが三分冊に

現在使用しているものは規約改正に伴い使えなくなるため新しいカブブック級に分かれて出来る。

ウサギ用 六十円 シカ用 六十円
クマ用 七十円

◎月の輪

四月、五年になるスカウト十二名は四月より月の輪として訓練指導をうける

「年少隊用」

- ニライームはいつもちんちんとつけよう。
- あいさつはきちんとできていますか。
- じぶんのもちものはたいせつに。



早すぎたかなあーと思って教会へ行って来るとカブがもうだいたいようぶ前から遊んでいたというような顔をしてこちらを見る。「ゆあー随分早いのおえー」と云わざるをえない。さ

ちよつと

デンマザー

渡辺

佐子

組の子供について色々わかっているつもりだが二人は時、他の組の子供と一緒に遊んで遊んでいると名前を覚えたり、その子供の名前や癖などにちよつととわかることが出来る。い

いつの間にかスカウトの年に返えつて遊んでいる内に小さなボーイフレンドが沢山出来た様な気持ちになる。いつも一杯遊ぶことの出来る場所があり大きに楽しむ事が出来る。だが自分の云いたい事を、したい事を押し通すだけでなく、他の人の意見をよく聞き、他人の立場をよく理解する。という心持をも

う少し持つてほしいなあーと感じる時がある。何事においてもこうしなさいと思える意志があつてもなかなか実行に移す事が出来ない。まず毎日の生活の中に「約束」の実行に努力した。いとと思う。又、他隊との交歓も時によむと思ふし、又カウト同志のみでなくリーダー間での意見の交換も、大いに勉強し、頑張りたい。恵まれた環境の中で活動出来ることを感謝したい。

教会とスカウト

副団委員長

山崎 忠雄

教会とスカウトと云う題目をいただけなので、キリスト教新教の教会である靈南坂教会の育成する私達のボーイスカウト運動に付いての一つの意義を書く事にしました。此の運動につけて私はすべて少年が良き市民として成長する様にと云う社会的期待へのゆらぎと、神に対する答えとして責任であると考えています。スカウトの誓いのはじめに神と国とに「まことしをつくす」と云う言葉がありますが大切なことです。教会がなぜ何を育成しているかと云う理

由は沢山ありましようが神様に対する信仰の實踐であるところの行動、運動としていからむといえましよう。即ち

沖田は他のスカウトの団より一そう参加し履してゐるスカウト諸君に育成団体がどんなつもりで国際組織であり多くの時に宗教と関係もない固もある。この運動に協力参加しているかを知つてその意になうよう行動しなければならぬと知らねばなりません。世

進歩

〔進級〕

菊 金森 勝芳	二月一日
市川 博也	三月一日
木下 忠昭	二月二日
加藤 理夫	二月一日
日下部 英一	三月一日
大島 啓義	三月一日

の中には、宗教や心の問題を軽視して、活動的な生活のみを必要とし、また大切だと考えている人が多くいます。勿論諸者の中にも、良く分らないにもか

かわらず大人の云う事をそのま自分分の考えとしてい

るお歳さんもお居るかも分りませぬ、いや決して居ないと思ひますが、それは丁度人間が道具化し、機械に使われている様な現代の人間を反省する事なく賞讃してゐるの

年長隊のページ

に似てゐる様に思ひます。二
 のことは人間の生きてゐるの
 はもつと意義深い多くの必要
 な点と、その人でしか出来な
 い様な大切な、なすべき事が
 あると云う事
 を知らぬに
 とからくる問
 題の結果であ
 ると思ひます。
 良いスカウト
 本當のスカウ
 トは、誓い板、
 一等を守り、実行し、また良
 き訓練の習得をする事などで
 ありましようが、はたして完
 全なスカウトといえる人がい
 るでしようか……。教会で
 云う良さスカウトとは今の守
 らねばならぬ事、訓練の習得

進歩

- (技能章)
 ○自転車章 案内章 加藤理夫(の)言士言
 個人衛生章
 音楽章 野啓章 市川博也(の)言士言
 個人衛生章 金藤勝芳(の)言士言
 個人衛生章 鳥美保護(の)言士言
 安全章 公衆衛生章 大島啓義(の)言士言
 家庭修理章
 電気章 公衆衛生章 金藤勝芳(の)言士言
 案内章 個人衛生章 大塚良友(の)言士言

をする事等を努める人であり、
 かつ、良き教会学校の生徒で
 ある事、大きなスカウトとし
 ては、スカウトの誓いをする
 様に、神様に対しての信仰を
 りいあらわ
 し、教会の
 会員と正式
 になる事が
 すなわち、
 良き、また
 本當のスカ
 ウトになる
 一歩である
 と考
 えられます。
 少なくな
 とも諸君
 は、オ四団
 のスカウト
 メンバ
 ーとして
 は、ずか
 しくない
 人として
 の行動が
 必要だと
 私は思
 います。
 昨年頃
 よりホー
 イス
 カウト日
 本連盟で
 は諸外国
 の
 制度を
 とりいれ、
 宗教章と
 云

うものについて研究討議して
 来ていますが、意義深い事
 あり、私達のオ四団のスカウ
 ト諸君こそこの名譽ある章を
 受ける事の出来る者が出て来
 るでありません。私は最後
 に一つの事についてののみ云つ
 たのでありますが、教会にス
 カウトは高き事の出来ない大
 切な関係があり、本當の精神
 は、教会に於ける聖書と
 して説かれる信仰による導び
 きなくてはありえないと云う
 事をうったえて筆をおく事に
 します。

「年長隊用」
 ○オーバーナイトハイキングー来る
 三月三十日 五日実施する。
 ○日赤講習会ー
 四月オ二週に予定している。

みんなのページ

編集にあたって

団のお誕生日を心からお祝いをいたします。このスマイルも少年隊と共に育ってまいりました。が、一昨年のクリスマス号より団の機関紙として発行されてきました。よりよいスマイルにする為、専門家（印刷所）にたのんで作ろうという話が、この前の団会議において決まりました。そこで今回発行（二月）団誕生日および少年隊誕生日、六月、少年隊誕生日、九月、年長隊誕生日、十二月、クリスマス）を目標にして再出発することになりました。はじめての仕

事なので慣れないためにか今回は三月になってしまいました。たことをおわびいたします。私たちのスマイルとするためにリーダーをはじめとして、スカウト諸君、および御父兄の皆様が協力か、ぜひ必要です。こんなことをおせえ方がよいとか、この様にしてほしいとか、みなさんの希望や意見をさいてやってゆきたいと思っております。ページに色々対象別に名前をつけました。がわかりやすくする為です。どのページも読んでくださるようお願いいたします。ポケットの中や、机の引き出し、本の間等にはさんで忘れてしまい、読まないことのないように協力して下さい。そ

うでない、と、スマイルはかなしく泣いてしまいますよ、各前にふさわしくないのでお願ひします。みなさんの希望や意見をまっています。また、原稿もどしどし出してくださるよう協力を希望します。今回は少年隊を中心に編集しました。が、次号は、少年隊を中心に編集しますから特にカブの諸君の原稿をまっています。

（編集人）

